

# 104-192

## 問題文

### 問192

35歳男性。身長172cm、体重67kg。頭痛と四肢の脱力感があり、血圧が180/110mmHgであったため病院を受診した。

血液検査の結果、血清カリウム値は3.0mEq/Lであった。血中の甲状腺ホルモン値、カテコールアミン値、ACTH値には異常を認めず、腹部CT検査にて両側副腎の腫大を認めた。

本症例に対する治療薬として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. プレドニゾロン
2. スピロノラクトン
3. アムロジピン
4. フロセミド
5. ニトログリセリン

### 問193

前問で選択した2つの薬物を長期服用したところ、女性化乳房が出現した。この副作用発現に関わる受容体として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ドパミンD<sub>2</sub>受容体
2. グルココルチコイド受容体
3. アンドロゲン受容体
4. アルドステロン受容体
5. プロゲステロン受容体

---

## 解答

問192 : 2, 3問193 : 3, 5

## 解説

### 問192

高血圧なので、降圧薬が適切です。

選択肢 1 ですが

プレドニゾロンは降圧薬ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2,3 は妥当な記述です。

スピロノラクトンは K 保持性利尿薬です。アムロジピンは Ca 拮抗薬です。

選択肢 4 ですが

フロセミドはループ利尿薬です。降圧薬の一種といえますが、低 K 状態で用いると、更に K が排出されてしまい、不適切です。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

ニトログリセリンは狭心症に用いられる血管拡張薬です。降圧薬ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問192 の正解は 2,3 です。

### 問193

スピロノラクトンは、アルドステロン受容体をブロックします。アルドステロンはステロイドの一種なので、スピロノラクトンは他のステロイド系ホルモンの受容体もある程度ブロックします。その結果、性ホルモンの一種であるアンドロゲン受容体をブロックすることで、抗男性化作用を示します。具体的には、女性化乳房などです。

もう一つについては、やはり性ホルモン受容体、という観点から プログステロン受容体が妥当と考えられます。

以上より、問193 の正解は 3,5 です。